

平成 28 年 3 月 24 日
海事局安全政策課

海のカーナビ，安全航行に役立つ画面表示の統一化に向け，

国際海事機関が議論を開始

～国際海事機関第3回航行安全・無線通信・搜索救助小委員会開催結果～

国際海事機関(IMO)は、第3回航行安全・無線通信・搜索救助小委員会(NCSR 3)を平成28年2月29日から3月4日まで、英国ロンドンで開催し、航海に必要な情報の統合表示に関する国際的なガイドラインの検討を開始しました。

船舶は、ブリッジで自船と他船の位置・船速・針路、気象、航行水域の警報等の様々な航海情報を、レーダーなどに表示して運航しています。これらの情報を、一つの画面上に理解しやすく調和的に表示するための国際ガイドラインを作成する検討が始まりました。これにより、船員の負担を軽減し、さらには、迅速な意思決定及び安全航行に役立つことが期待されています。なお、このガイドラインは平成29年に最終化される予定です。

船舶にはレーダー、GPS、船舶自動識別装置等の様々な通信機器があり、船員はこれらの機器から自船と他船の位置・船速・針路、気象、航行水域の警報等の航海情報を受け取り、情報を管理する必要があります。また多くの情報から必要な情報を取捨選択しなければならず、船員の負担となっていました。

このような観点から統合的かつ理解しやすい情報管理のため、航海情報を一つの画面に表示する統合航海システム^{注)}と呼ばれる装置が普及しつつあるところですが、通信機器との情報の互換性が充分でなく、航海情報の統合的表示が課題となっていました。

このような課題を解決するため、IMOは、国際ガイドラインを作成する検討を始めました。これに沿って製造された機器が普及することにより、船員の負担を軽減し、さらには、迅速な意思決定及び安全航行に役立つことが期待されています。

注) 統合航海システム：画面上に電子海図、船舶自動識別装置(AIS: Automatic Identification system)、レーダー等の情報はじめ、船位、方位、船速などの航海情報を統合的に表示できるシステム。



NCSR 3の開催概要についてはご参考をご覧ください。

問い合わせ先

TEL : 03-5253-8111 直通 : 03-5253-8631 FAX : 03-5253-1642

国土交通省海事局安全政策課 岡, 神山 (内線 43-562, 43-567)